

多様な学習者一人ひとりの学力を高めるために —国語, 算数・数学

活動案内

後半の学習では主に「多様な学習者の学び」をどのように捉え、どのように関わるのかを考えます。そのために、チーム全体で「さまざまな学力レベルにある学習者一人ひとりの学力を高めるための学習指導法を提案する(対象教科: 国語, 算数・数学)」という共通テーマを持ちながら、最終的には個人で具体的なサブテーマを持ってまとめ、最終レポートの一部として提出します。

学習を次の4ステップで進めていきましょう。

Step 1 「『学力低下』の実態」の第 部を分担して読んで報告しあう 8週目・9週目
「『学力低下』の実態」(荻谷剛彦ほか著 2002年 岩波書店)を各チームに渡します。分担した部分を読み、内容を要約した資料を用意してメンバーに説明します。

分担を決める

6項あるので、1人で1項担当して読むか、2人で2項担当して読むなど、どのように分担して読むか決めてください。

他のメンバーに報告するためにまとめる

それぞれが読んだ内容を報告して第 部を理解する

Step 2 1人ひとりが、メインテーマにどのように取り組むのか(個人のサブテーマ)を決め、ショートレポート(A4 2~5枚)にまとめる。 10週目

国語, 算数・数学のいずれかを選択する

サブテーマを明確にする

例: 「中学・国語で文章力を強化するために到達度評価を開発する」
対象者(誰に) 具体的な学力(何を) 方法(どのように)

Step1 で得た知識を利用しながらサブテーマについてショートレポートをまとめる

- ・「国語の学力」, 「算数・数学の学力」をできるだけ明確に定義する
- ・インターネットや文献などから、国語や算数・数学の学力を向上させるための具体的な取り組みの例
- ・「さまざまな学力レベルにある学習者一人ひとりが学ぶために、自分ならこうする」という提案

注意 必ずプリントアウトして次週持参してください。

Step2 でまとめた個人のショートレポートを輪読してコメントしあう

Step 3 第2回チーム発表で「多様な学習者の国語，算数・数学の学力低下に対する本校(構想した学校)の方針」を他のチームに説明する 11 週目

Step3 までの内容を踏まえて、再びチームで構想した学校を展開する。テーマは「さまざまな学習者の国語，算数・数学の学力低下に対する本校の方針」

の内容をチームで A4 で 2 枚にまとめて学習管理システムに提出(時間厳守)
学習管理システムに提出されたチームレポートを用いて学団ごとで発表

Step 4 Step 3 までの学習を見直して最終レポートの第 2 章としてまとめる 11 週目～

Step3 までの学習を総括して、最終レポートの第 2 章として A4 5 枚以上でまとめる。
その他の章と合体させて最終日に学習管理システムに提出する。

第 2 章は最終レポートの中でも一番重要な位置を占めているので、冬休みを使って見直すなどして時間をかけてしっかりまとめていきましょう。